

喫煙で生じるリスクなどについて学ぶ参加者
＝31日、山口市



「諦めず チャレンジ」

山口・阿知須共立病院で禁煙講習会

世界禁煙デーの31日、山口市阿知須の阿知須共立病院で禁煙講習会があり、職員約90人が受講した。

同病院で禁煙外来を担当する藤井郁英総合健診センター長が、「誇りを持って目指そう！職員喫煙者ゼロへの挑戦!!」と題して講演。厚生労働省のデータなどを使い、喫煙ががんや脳梗塞のリスクを高めることを説明。禁煙後は経過年数に応じて健康状態が改善するデータも示し「たばこは病気の原因のなかで予防可能な最大の単一の原因」と指摘した。

禁煙デーのテーマである受動喫煙が子どもに与える影響にも触れ「諦めずにチャレンジすることが重要。私たちならできます」と禁煙を呼び掛けた。

講習会は院内から禁煙への理解を深めようと開いた。2006年、11年にも同様の講演を実施し、06年に23%だった法人全体の職員に占める喫煙者の割合が11年には18%に減少したという。

10年ほど前に禁煙したという同院の三好正規院長は「減らすのではなくやめる。チャレンジすることが何よりも大切。禁煙外来を持つ病院として喫煙ゼロを目指したい」と話した。

平さん(山口市)へ株が送られてきた。旧県農試OBらの協力を得て試験栽培し、原種を特定。伊勢神宮はイセヒカリと命名し、県神社庁が種もみ1000年分を保管している。

同店で購入する際、免許返納時に交付される「運転卒業者サポート手帳」か「運転経歴証明書」を提示すると、全国のイオングループ店舗で利用できる5千円分の商品券がもらえる。同店では電動アシスト自転

話した。

同署管内の支援企業は同店を含め10社となった。同署交通課によると、県内で今年に入って4月末までに者もいるという。

運転免許を自主返納した人は1654人で、うち防府市内は125人。家族から勧められ署に返納する高齢者もいるという。

京染作家、紀田秀夫さんの作品展＝31日、山口市
友禅やろうけつ染